

県立大

# AMDAと連携協定

## 国際社会へ貢献、人材育成

国際医療援助団体  
「AMDA(アムダ)」

(北区)と県立大(総社市窪木)は6日、国際貢献活動の推進などを目的にした連携協力協定を結んだ。AMDAが大学と包括提携を結ぶのは岡山大に次いで2校目。AMDAの菅波茂理事長は「大学の教員、学生とAMDAのネットワークを活用して国際社会に向けた政策提言したい」と語

った。  
総社市窪木の県立大であった調印式で、菅波理事長と県立大の三宮信夫理事長が協定を交わし、古矢博通副知事が立ち会った。協力

協定は「地域社会と国際社会への貢献と人材育成」を目的としており、三宮理事長は「AMDAは力強いパートナー。さらなる発展をしたい」と話した。スーダンなど発展途上国の調査や看護師教育などで提携研究に向けて既に動き出している分野もある。今後、両者とも連携を担当する事務局を設置し、具体的な活動について協議す



握手する菅波理事長(左)と三宮理事長。中央は古矢副知事一総社市窪木の岡山県立大で

る。

菅波理事長は「AMDAの活動に専念したい」と先月末で医療法人理事長を退いた。今回は退任した後、初め

ての大仕事。「研究者の調査力とAMDAのノウハウを生かし取り組みたい」と今後に向けた意欲を語った。

【石戸諭】